

～ 構成団体 ～
 連 合 長 崎
 県平和運動センター
 同盟友愛連絡会
 県中連懇話会
 労働金庫
 全 労 済
 県生活協同組合連合会



一 発 行 所 -
 長崎県労働者福祉協議会
 〒850-0031
 長崎市桜町9-6
 長崎県勤労福祉会館内
 ☎ 095-811-6131
 roufuku-nagasaki@io.ocn.ne.jp
 発 行 日 隔月1日
 発行責任者 梶田 憲二

労福協 南部ブロック定期総会を開催 2013年度の活動方針等採択 森光一会長、梶田事務局長など役員を選出

労福協南部ブロック協議会（九州・沖縄）は2月14日、熊本・全日空ホテルニュースカイにおいて2013年度定期総会を開催し、2013年度の活動方針等を決定した。「東日本大震災」の復興・再生、福祉事業団体の利用促進の取り組み、更には「ライフサポート事業」の着実な前進、「賢い消費者運動」の継続した取組みなど、未組織労働者や高齢者も含めた、すべての「労働者福祉運動の強化と発展」を目指すとした。活動報告、活動方針などの議案審議は、特に問題もなく全ての議案が満場一致で承認された。

▲役員改選では、森光一会長（長崎県労福協会長）、梶田事務局長（長崎県労福協事務局長）らの新しい執行部を選出した。



総会で挨拶する「森光一」新会長

総会には、代議員・オブザーバーを含め総勢58名が参加。大原始幹事の開会挨拶で始まり、議長に川口孝・全労済熊本県本部専務執行役員を選出。

主催者を代表して、南部ブロック上田淳会長が挨拶、来賓として熊本県商工労働局、森永政英局長、連合九州ブロック連絡会 高島代表幹事、中央労福協 山本副会長より挨拶を行った。

山本幸司中央労福協副会長は、経済は何のためなのか、社会は一体どうなっているのか、政治は

何のためにあるのか、こうした事の最も根本的な問いに対して、私たちは今、改めてその点検として原則の確認が求められているのではないかと。私たち労働運動に関わっているものとして、働く人々の日々の暮らしとその営みにしっかり目線が据えられて物事を判断する行動の基準が、ブレることなく位置づけられているのか。そしてそれに対する感度が問われているのではないかと。

▲地域、職場で大衆的な運動抜きには、我々の目指す方向に向かうことはできない。2012年協同組合年を経て、労働組合・協同組合・労働者福祉事業が車の両輪となり労福協の役割もますます大きくなってきている、として締めくくった。

▲新役員を代表して、新たに選出された森新会長は、決意を込めて以下のとおり挨拶した。

森会長 新任挨拶

ただ今ご確認をいただき南部労福協の会長を拝命することになりました長崎県労福協の森です。

先ず、今日まで南部労福協幹事県として活動を牽引してこられた上田会長、吉永事務局長のご労苦に敬意を表したいと思います。

さて、私たち働く仲間の生活と福祉の向上は常に前進を求めなければなりません、併せて東日本大震災からの復興・再生へ向けて懸命に立ち向かっている労働者、仲間がいるということを忘れてはなりません。彼らもまた自らも被災者であり、これからの復興再生の中核を担うのは自治体職員の仲間であり、また私たちです。

電気・水道・電話などのライフラインを作るのも仲間、多くの住所が分からない中で毎日配達をしているのも仲間、親兄弟・友を亡くした子供たちと必死に向き合っているのも仲間、そしてあの福島第一原発で過酷な労働環境の中で必死に作業を行って

るのも仲間なのであります。

労金・全労済・生協の皆さんも厳しい中で被災者への対応をしています。そのことを念頭に置きながら私どもは支え合わなければなりません。

南部労福協も労福協の精神、運動理念である「共助」（共に助け合い・支え合う）の精神・立場での対応をして行きたいと思ひます。

南部労福協は各県労福協との連携強化を更に強め、勤労者の生活が厳しさを増す中で、未組織労働者や高齢者等社会的弱者含めて全ての人々が安心して暮らせる社会づくりを目指して活動を進めて行きます。

今後ご支援・ご協力をお願いします。



講演する北海道大学 山口二郎教授

総会終了後、記念講演として、「政権交代とその後」と題して、北海道大学 教授 山口二郎氏が講演した。

アベノミクスで景気が良くなったかのような環境があり、安倍政権批判はやりにくい状況下にある。しかし、無理をしてこんな状況を作り出しており、また近い内に状況は変わると思う。

民主党政権を作り出すためにどんな変革が必要かということの本気になって考えなければならない。負け戦であったが、元気を出して欲しい。気落ちしているだろうけど、ここで諦めたらいけない。

大敗した民主党の責任は思いし、現状は厳しく捉えることが必要だが、自民政権は磐石で国民の指しを圧倒的に受けたわけではない。

例えば比例における自民党の得票数は少し減っている。今回は民主党を罰する民意が表に出た。

いろんな問題は自民党の負の遺産、メディアの責任も大きい。だと言っても民主党がいろんな失敗をして自ら敗北を招き寄せたことは間違いない。

民主党政権になって今までとは違うのは、色んな人達が、政策決定の中に入ってきた。反貧困の湯浅誠君は内閣府の参与になって反貧困と取組み、官僚と一緒に政策をつくる側になったことなど。これは偉大な変化である。

登場人物が代われれば、政策も変わる。

目指すべき方向として社会保障をはっきり持っておけばよかったと思う。政策云々より政党としての力を成してないところに敗因があった。

政権を担う前に未熟であり、政権交代の期待が大きかった分、失望も大きかった。

弱者の声を代表し、人間の尊厳を守ることだ。そんな常識、国際社会の常識が必要であり、この原点に返るべきだ。

今年は参議院選挙があり、これまでの成功・失敗をしっかりと議論して総括した上で、国民に対してビジョンを示し真面目な姿勢を示す必要がある。必要以上に悲観することはない。今必要なことは、理念のレベルで自民党政権との対決の構図をチャンと作ることだ。

第3回県労福協ボウリング大会開催

県労福協は、組合員の親睦・交流を図るため2月24日(日)長崎市ラッキーボウルにおいて、第3回県労福協ボウリング大会を開催。離島を含む県下各地から、選手・応援者・スタッフを含め70余名の参加があった。遊んでいる顔は楽しい顔ばかり、ストライクが出ると満面の顔でハイタッチがでるなど、楽しい一日であった。22チーム66名による大会を制したのは、「JR九州労組」、準優勝「雲仙市職労」、第3位「自治労長崎情報センター労組」。個人優勝は「喜多未来」氏、準優勝「住田直人」氏、第3位「富永忠孝」氏であった。



▲優勝した「JR九州労組」のヤングチーム



▲個人優勝の「喜多未来」さん(雲仙市職労)

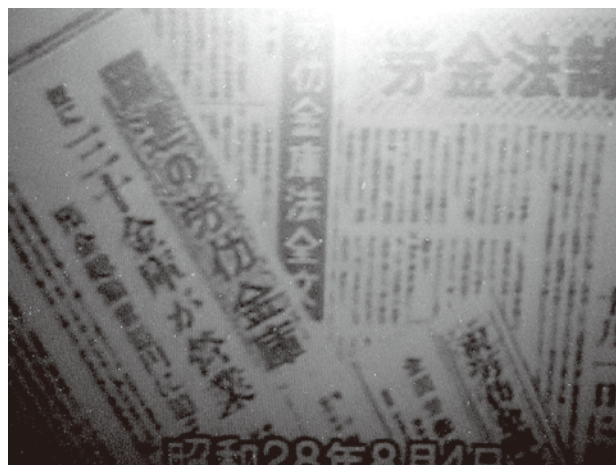
各地区労福協だより

五島地区ボウリング大会開催

五島地区労福協は2月9日(土)ボウリング大会を開催。8チーム24名の参加があり、優勝・県教組チーム、2位・五島市職チームであった。



開始されて60年という節目を踏まえ、全国に“ろうきん”が設立された背景や趣旨を学んだ。また、五島市に“ろうきん”ができた背景と当時の先輩方の情熱やご労苦について、労福協としても再認識する必要があると考え、その上で、全労済と連携し、ろうきん・全労済それぞれの視点からライフプランについて学習した。



五島地区磯釣り大会開催

2月23日(土)磯釣り大会を開催。当日は天候に恵まれましたが、風が強く波が高い中での開催。各単組から30名の参加があった。優勝は、「クロの部」榎田さん(JP労組OB)49.3cm/1.74kg、「他魚の部」の優勝は、出口さん(五島病院労組)チヌ54.0cm/2.01kgであった。



長崎地区ボウリング大会開催

長崎地区労福協は、2月5日(火)長崎ラッキーボウルにて87名の参加のもと県労福協ボウリング大会の予選を兼ねた長崎地区労福協第4回大会を開催。優勝は「JR九州労組」であった。



五島地区セミナーを開催

～原点に立ち返り、“ろうきん”
“全労済”のさらなる発展を誓い合う～

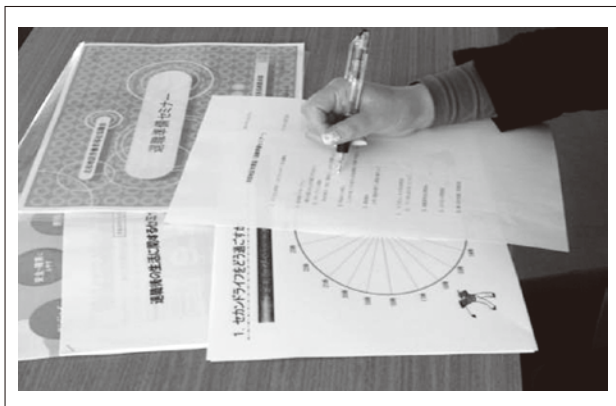
2月22日(金)18時～19時30分、五島地区労福協セミナーを開催。今回は、労働金庫の業務が長崎で

北松地区労福協セミナー開催

北松地区労福協は、2月27日(水)18時より、松浦市生涯学習センターにおいて、退職準備セミナーを開催した(参加者13名)。

吉元会長挨拶後、全労済佐世保支所の植原支所長から、セカンドライフをどう過ごすか、老後の生活設計・各種共済の保障内容について説明。

を使って年金のしくみを説明。豊かな第二の人生を過ごす為には、収入・支出・資産を把握し、年金制度の中味について学習した。平日の開催ということで、昨年より参加者が減少したが、定年後の生活設計に役立つ充実した内容だった。



大東地区ボウリング大会開催



また、保険会社も多様化し商品のしくみも複雑になっている中で、老後は何を基準として選択すべき

か、大変分かりやすかった。

また、労働金庫北松支店の江口次長からは、DVD 大東地区は、2月1日大村Jボウルで「ボウリング大会」を開催。18チーム54名が参加。見事団体優勝したのは「大村市職環境センター」2位は「大村競艇場労組C」、3位は「九電ユニオンB」であった。

対馬地区ボウリング大会開催

対馬地区労福協は、2月9日(土)に対馬地区労福協レクリエーションを開催した。

島内から13チーム、39名の組合員および家族の参加があり、日頃顔を合わすことが少ない組合員の仲間同士で大いに盛り上がった。

白熱したゲームの中、「JP労組チーム」が「病院職チーム」を僅差で破り見事優勝し、県労福協ボウリング大会の切符を手に入れた。

日頃、単組単産間での交流はあまりありませんが、このような機会に短時間でも親睦・交流できたことは有意義であった。



第72回 労福協 クイズ

1. ろうきんはフレッシューズキャンペーンを実施中！期間：2013年4月1日～〇月31日まで。
〇〇の数字をお答えください。
 2. 全労済が掛金見積りをおすすめしているのは
〇〇〇〇共済？
〇〇〇をお答えください。
- 答えはハガキかFAXで住所・氏名・職場名を明記し県労福協へ送付ください。
- 締切日は5月25日(土) (当日消印有効)

○当選者10人の方に「お楽しみプレゼント？」します。正解者多数の場合は抽選となります。

(今回は果物を送付。喜んで頂きました)

○送り先 〒850-0031

長崎市桜町9-6 勤労福祉会館内
長崎県労福協クイズ係

○FAX (095) 811-6132

○前月号当選者 (敬称略)

道越智恵子 (長崎)	若杉さとみ (長崎)
井上 学 (佐世保)	和泉久美子 (佐世保)
菅 久美子 (諫早)	栗須 善子 (大村)
浅井ちはる (佐世保)	増田タエ子 (大村)
平野 満子 (大村)	柴田しおり (五島)

全労済マイカー共済保障点検活動について

無料見積実施中

全労済では自動車関連補償における保障点検活動を実施中です。

この活動によって、組合員や家族の皆さまがカーライフにおける安心と安全を享受できるだけでなく、点検・見直しによる掛金の負担軽減から可処分所得の拡大、協力団体における福利厚生の実施、生活の向上へとつながるものです。

この活動に対するご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

掛金例

ワゴンR（型式：MH23S）
にお乗りのSさん（40歳の場合）

基本補償

+

車両損害補償

年払
掛金 31,620 円

※車両共済金額は 160 万円です。
※月払いの掛金は、2,770 円です。
※22 等級の場合での試算です。

※記載の掛金は、プランの一例です。

詳細は全労済各支所までお気軽にお問い合わせください！

充実の補償内容

対人賠償

無制限

対物賠償

無制限

人身傷害保障

最高 5,000 万円

車両損害補償

一般補償

カーライフを応援する、頼れる補償です！

見積もりチラシは、

協力団体共済担当者しくは
全労済職員まで！

今すぐお見積もりを！



保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会
全労済は、営利を目的としない保障
の生協として共済事業を営み、組合
員の皆さまの安心とゆとりある暮らし
をめざしています。出資金をお支払い
いただいて組合員になれば、各種共
済をご利用いただけます。

【お問い合わせ先】 下記の全労済長崎県本部各支所へ

■ 長崎支所

長崎市宝栄町 3 番 15 号

TEL (095)864-7144 FAX (095)862-8127

■ 佐世保支所

佐世保市城山町 1 番 22 号

TEL (0956)25-8012 FAX (0956)22-7292

ろうきんからのお知らせ

九州ろうきんフレッシューズキャンペーン実施中!



期間2013年4月1日～10月31日

九州ろうきんは、若年層の皆さまを対象とした「フレッシューズキャンペーン」を、今年度も4月1日(月)～10月31日(木)の期間で実施しています。

キャンペーン期間中、対象のお取引2項目に該当される方先着10,000名様に「フリクションペン(書いた文字を消せるボールペン)」をもらえなくプレゼントします。

さらにQUOカードを毎月50名様に、カタログギフトを毎月14名様に、それぞれ抽選でプレゼントします。応募方法はインターネットでの応募となりますので、当庫ホームページの応募専用サイト(パソコンまたはスマートフォンサイト)にて応募専用カード(お申込み時または契約時にお渡しするカード)に記載の番号を入力いただき、ご応募ください。

くわしくは、お近くの店舗またはお客さまサービス室(フリーダイヤル0120-796-210 平日9時～17時)までお問合せください。

ろうきんがツイてる! ROKIN CAMPAIGN

九州ろうきんフレッシューズキャンペーン

応募期間:2013年4月1日(月)～10月31日(木)

毎月当たる!

抽選で毎月14名様に
「ツイてるギフトカタログ」をプレゼント!!

リラクゼーション
グッズ

スポーツヘルシー
グッズ

生活家電

ビジネス
アイテム

お役立ち
アイテム



20,000円相当の商品をお選びいただけます。

*カタログ表紙のデザインは、実際のカタログとは異なる場合がございます。

Wチャンス

抽選で毎月50名様(合計350名様)に
オリジナル「ツイてるQUOカード(500円分)」を
プレゼント!!

先着で プレゼント!

先着10,000名様に今話題の
「フリクションペン3本セット」を
プレゼント!



つかえるろうきん
みんなのろうきん **九州ろうきん**

お近くのろうきんはコチラ!

九州ろうきん 検索
<http://kyusyu.rokin.or.jp/>

